APIの契約とキーを準備する

アプリの利用料と、外部サービスのAPI利用料は別です。

OpenAI APIとGemini APIのどちらかを用意します。ChatGPT Plus / Pro、Google AIの月額プランを契約していても、APIの課金・利用上限が自動で同じになるとは限りません。API側のプロジェクト、請求設定、残高、利用可能モデルを確認してください。

キーをチャット・画像・公開リポジトリへ貼り付けないでください。API側で利用上限を設定し、漏えいしたキーは失効して再発行します。入力欄は秘密情報なので、操作画面を共有するときも伏せます。

OpenAI APIキーの管理 →

OpenAI APIの料金と課金 →

Gemini APIキーの取得 →

Gemini API料金 →

AIキーとモデルを設定する

GeminiかOpenAIのいずれかを初期セットアップに入力します。

キーはブラウザーのReact状態からローカルAPIへ送られ、サーバープロセスのメモリに保持されます。画面のAPI切替で変更できます。ブラウザー再読み込みだけではサーバーが保持するキーは消えません。終了時はローカルサーバーも停止してください。

通常の画面入力はキーをブラウザーストレージへ保存しません。開発者がGEMINI_API_KEY / OPENAI_API_KEY環境変数を設定した場合は、その値もサーバーの代替入力になります。設定ファイルや環境変数を共有しないでください。

OpenAIの既定はgpt-6.1-sol。画面の候補から解析・校正モデルを選び、選択・試行・採用を確認します。未知の英単語の発音補助はgpt-6-lunaの単一モデルで、失敗時は辞書のみで続けログへ表示します。

Geminiの文章・画像解析はgemini-3.8-flash → gemini-3.6-flash → gemini-3.5-flash-lite → gemini-3.1-flash-lite。発音補助はgemini-3.5-flash-lite → gemini-3.1-flash-liteです。

日本語・英語の音声を準備する

音声ごとに別の接続条件があります。

音声	準備・利用
VOICEVOX	日本語。ローカルのVOICEVOXを起動。通常はlocalhost:50021。
Supertonic 3	日本語のローカル代替。通常はlocalhost:7789。起動側の案内に従います。
Edge-TTS	英語原稿で使用するネットワーク音声。VOICEVOXを迂回します。

日本語は画面でAuto・VOICEVOX・Supertonic 3を選べます。手動指定は解析からレンダリングまで保持します。APIキー入力欄はAI解析用で、これらの音声サービス用キーの入力欄ではありません。

ローカル音声の利用条件とキャラクターごとのクレジット条件は各提供元で確認します。アプリのMITライセンスと、第三者音声の条件は別です。

VOICEVOX公式 →

課金と接続エラーを切り分ける

解析・校正・発音補助がAPI利用に含まれます。

AI料金は画像入力、文章出力、校正、発音補助、候補切替や再実行に左右されます。固定の動画1本単価ではありません。モデル欄の価格は参考値で、最新の実請求条件は利用中プロジェクトの公式画面で確認します。

接続確認中も上部の赤い緊急停止を使えます。ブラウザーを再読み込みせず、入力したキーを保持して接続確認をやり直せます。停止済み・待機中はボタンが無効です。

401/403では入力キー・権限・利用可能モデル、429では残高・上限を確認します。ネットワーク障害とローカル音声接続失敗は分けて対処します。AI解析が成功しても音声や動画の成功を意味しません。

画面が接続できないときはバッチとAPIサーバーが動いているか、5174/3001の競合、音声エンジンの起動状態を確認してください。自分のPCで使うループバック起動を維持し、外部向けにサーバーを公開しないでください。